

秋冬期
雑草防除の一発剤



芝生用 / 除草剤

オフ[®]II フロアブル

©BASF社の登録商標

 **BASF**
We create chemistry

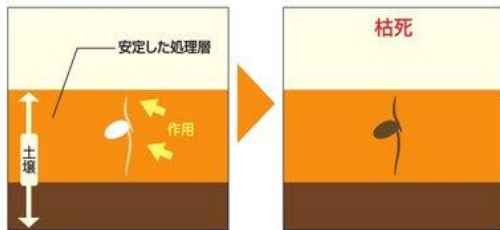
オフ®IIフロアブル

秋冬期除草の専用剤 イネ科、広葉雑草を同時防除

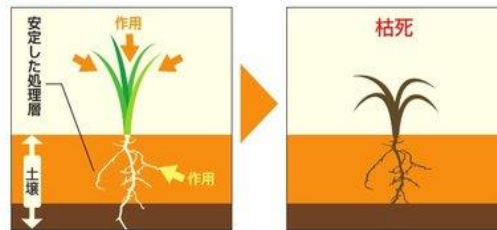
オフ®IIフロアブルの殺草メカニズム

- 雑草発生前にも生育期にも効果的です。
- 発生前は雑草の幼根、幼芽に作用します。
- 生育期には雑草の茎葉、根に作用します。

■雑草発生前

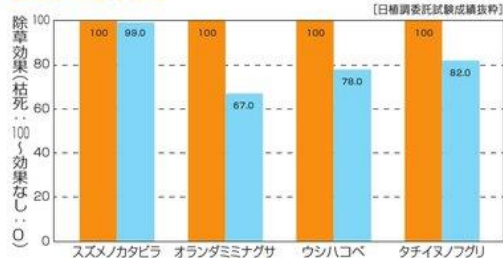


■雑草生育期

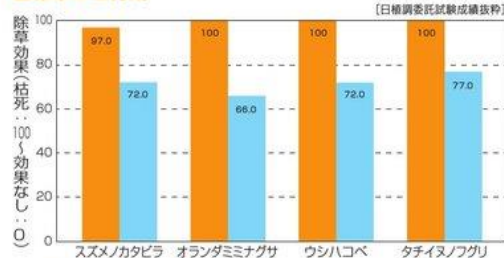


雑草の生育初期と生育期の効果

■雑草の生育初期



■雑草の生育期



■オフIIフロアブル(葉量:0.5ml/m²) ■A剤(葉量:1.0ml/m²)

生育初期から生育期にかけての雑草をしっかり抑えます。

オフ®IIフロアブルの安全性

- 日本芝に安全性があります。
- 食用作物に使用する薬剤と同じ有効成分なので安心してお使い頂けます。
- 人畜毒性が低く環境にも安全です。

■日本芝に対する安全性

[1992年、日種調査委託試験]

薬量 (ml/m ²)	水量 (ml)	散布日	安全性
0.3	200	10/26	○ 薬害無し
0.4		11/21	
0.5	250	12/30	

※樹木周辺での使用は避けて下さい。

秋冬期の雑草防除に最適

広い殺草スペクトラム

茎葉、土壌処理のダブル効果

幅広い殺草スペクトラム

- 一剤で秋期～冬期雑草を防除します。

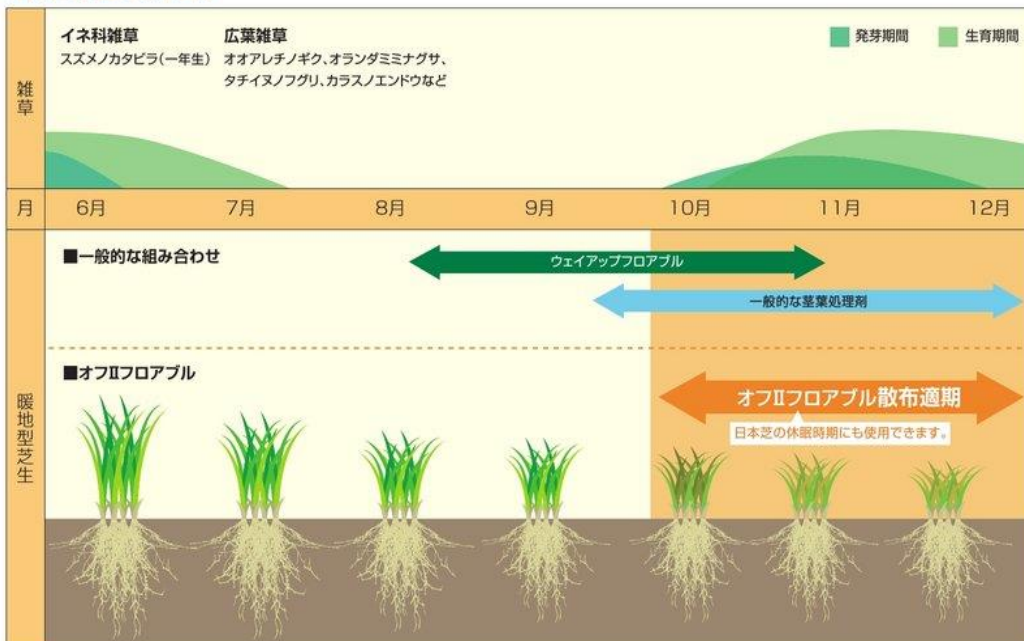
科名	イネ科	ナデシコ科	ゴマノハグサ科	キク科	マメ科	アブラナ科	シン科
雑草名	スズメノカタビラ	ハコベ ウシハコベ ノミノフスマ ノミノツツリ ミミナグサ オランダミミナグサ ツメクサ	オオイヌノフグリ タチイヌノフグリ	アレチノギク オオアレチノギク ヒメムカシヨモギ ヒメジョオン ノボロギク ハハコグサ ウラボシチコグサ チチコグサ チチコグサモドキ ノグシ アキノグシ	カラスノエンドウ スズメノエンドウ ウマゴヤシ コメツクサ	ナスナ タネツケバネ	ヒメオドリコソウ ホトケノザ
処理葉齢	発生前～4葉期*	発生前～生育期					

*5葉期以上のスズメノカタビラ等が優占する場合は、有効な茎葉処理剤の混用を推奨します。

効果的な散布適期

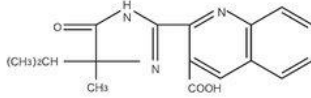
- 秋期から冬期にかけて使用できます。
- 茎葉と土壌処理のダブル効果で、幅広い処理適期を実現。

■雑草の発生と散布適期



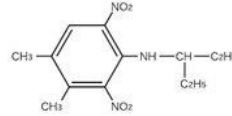
成分・性状・物理化学的性質・規格

農林水産省登録：第18770号
 種類：イマザキンベンディメタリン水和剤
 成分：イマザキン…8.5% ベンディメタリン…36.0%
 化学名：(RS)-2-(4-イソプロピル-4-メチル-5-オキソ-2-イミダゾリン-2-イル)キナリン-3-カルボン酸
 構造式



性状：黄緑色水性和粘稠懸濁液体
 規格：1L×5本
 化学名：N-(1-エチルプロピル)-3, 4-ジメチル-2,6-ジニトロアニリン

構造式



人畜・環境への高い安全性

人畜毒性(製剤)：普通物(毒劇物に該当しないものをさすいう通称)

LD ₅₀ (ラット、経口)	5000mg/kg以上
LD ₅₀ (ラット、経皮)	1083mg/kg以上

魚毒性(製剤)

コイ	LC ₅₀	110mg/L以上(96時間)
オオミジンコ	EC ₅₀	56mg/L以上(48時間)
緑藻類	EbC ₅₀	0.057mg/L(72時間)

適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	イマザキンを含む農薬の総使用回数	ベンディメタリンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量				
日本芝	畑地一年生雑草	秋期～冬期 (雑草発生始期～生育期)	300～500 mℓ/10a (1㎡あたり 0.3～0.5mℓ)	200～250 L/10a (1㎡あたり 200～250mℓ)	1回	散布	1回	3回以内

使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振り、本剤の所定量を所要量の水でうすめ、よくかきまぜてから散布してください。散布液調整後はできるだけ速やかに散布してください。
- 本剤は雑草発生前～生育初期処理の効果が高いですが、生育が進んだスズメノカタビラ(4葉期以上)に対して使用する場合には所定量の範囲内で高めの薬量で処理してください。
- ターフを形成した日本芝に使用し、ペントグラスなどの寒地型洋芝では薬害が生ずるのでかからないようにしてください。特にゴルフ場においては、西洋芝のグリーンやティーグラウンド及びその周辺では散布をひかえてください。
- 水源地等に本剤が飛散・流入しないように十分注意してください。
- 散布器具、容器の洗浄水及び残りの薬液は河川等に流さず、容器、空袋等は圃場に放置せず、環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 激しい降雨の予想される場合は使用を避けてください。
- 散布薬液の飛散、あるいは本剤の流出によって有用植物に薬害が生ずることのないよう十分に注意して散布してください。特に樹木周辺での使用は避けてください。
- 本剤は着色するので、衣服、散布器具、散布車や周辺の状況などに十分注意して散布してください。
- 散布時や散布液乾燥前にゴルフプレーヤーが立ち入ることがないように注意して散布してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散・流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

- ラベルをよく読んでください。●記載以外には使用しないでください。●小児の手の届くところに置かないでください。●空ビンには3回以上水洗いし、圃場などに放置せず、適切に処理してください。●洗浄水はタンクに入れてください。

BASFジャパン株式会社

〒106-6121 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー21階
 ☎0120-014-660 FAX 03-3796-9419
 http://www.agriculture.japan.basf.com

2015.12/1(ZN)R009-01